

筑波スーパーバトル ストリートクラス車両規定

	ストリート SUPER LIGHT	ストリート LIGHT	ストリート	ストリート +	ストリート EVO	備考
大前提						
保安基準適合であること	○	○	○	○	○	
最低地上高90mmの確保	○	○	△	△	△	△は90mm以上に現場で戻せる構造であること
パワー系						
エアクリナー交換	○	○	○	○	○	保安基準適合品に限る
エキマニ 触媒 マフラー交換	○	○	○	○	○	保安基準適合品に限る
エンジンコンピュータ変更	○	○	○	○	○	
バッテリー交換	○	○	○	○	○	
電装系パーツ交換	○	○	○	○	○	オルタネーター デスビ イグニッションなど
ベルト ブレーキ交換	○	○	○	○	○	
ラジエーター オイルクーラー インタークーラー交換・追加	○	○	○	○	○	
ピストン コンロッド クランク交換	×	×	○	○	○	
排気量アップ	×	×	△	△	△	△は+300ccまで
過給器交換 追加	×	×	○	○	○	
エンジン換装(異型式 異排気量)	×	×	×	×	○	同型式 同排気量への換装は可
カム交換	×	×	○	○	○	
ロータリー ポート加工	×	×	○	○	○	
インジェクター、レギュレーター、 デリバリー交換	×	×	○	○	○	
燃料ポンプ コレクタータンク追加	×	×	×	×	○	燃料ポンプ交換は可
安全タンク	×	×	×	×	×	
NOS スペシャル燃料	×	×	×	×	×	
市販ガソリン添加剤オイル添加剤	○	○	○	○	○	
駆動系						
クラッチ フライホイール交換	○	○	○	○	○	
デフLSD. ファイナルギア交換	○	○	○	○	○	
ミッションギア交換	×	×	○	○	○	
プロペラシャフト交換	×	×	○	○	○	
ドライブシャフト交換	×	×	○	○	○	
シーケンシャルミッション ドグミッション換装	×	×	×	×	○	
強化AT	×	×	○	○	○	
フットワーク						
RE-05D RE-12D A052 β02などの 超ハイグリップラジアル	×	○	○	○	○	NG銘柄は編集部判断で随時更新。 ストリートSはセミスリック可
サスキット交換	○	○	○	○	○	
強化ブッシュ ピロブッシュ	○	○	○	○	○	
調整式アーム ロッド	○	○	○	○	○	
スタビライザー交換 追加	○	○	○	○	○	
ブレーキパッド ローター ホース フルード交換	○	○	○	○	○	
ブレーキキャリパー交換	×	○	○	○	○	×は純正オプションのみ可
ボディメンバー補強						
強化マウント	○	○	○	○	○	
ロールケージ溶接取り付け	×	×	○	○	○	
メンバー溶接補強	×	×	○	○	○	
スポット増し	×	×	○	○	○	
ボルトオン補強パーツ	○	○	○	○	○	
空力 軽量化						
純正オプション エアロパーツ	○	○	○	○	○	
市販エアロパーツ	×	×	○	○	○	
市販フェンダー	×	×	○	○	○	
カナード	×	×	○	○	○	
GTウイング(翼端を有する形状のもの)	×	×	○	○	◎	×は新車時装着の純正のみ可 ◎は取り外し可能なら 幅が保安基準外でも可 新車時装着の純正のみ可
アクリル ポリカーボネイトウインドウ	×	×	×	×	×	
ファイバー製ボンネット トランク	○	○	○	○	○	
ファイバー製ドア	×	×	×	×	○	
純正外ファイバー製ルーフ	×	×	×	○	○	
幌取り外し&ハードトップ装着	×	×	×	○	○	
レインフォース取り外し	×	×	○	○	○	
エアコン オーディオ取り外し	×	×	×	×	○	新車時に標準装備でない場合は不問
内装パネルの加工 取り外し	×	×	×	×	後席まわり は可	ロールケージ装着のための 最小限の加工は可
運転席 助手席シート ステアリングホイール&ボス交換	○	○	○	○	○	
助手席取り外し	×	×	×	×	△	△は現場で装着できる状態であること
リアシートの取り外し	座面のみ可	座面のみ可	座面のみ可	座面のみ可	○	
乗車定員の変更	×	×	○	○	○	
カーペット アンダーコート除去	×	×	○	○	○	

オープンクラス

改造範囲は無制限だが、市販車のフロアを使用し、チューニングカーの概念を超えないのが暗黙のレギュレーション。そこを超越する車両は『トランセン
ド・クラス』としての出走となる。ロールケージ、消火器、レーシングハーネスなどの安全装備を備えること、セミスリック使用可で、駆動方式別に『オープン4WD』『オープン後輪駆動』『オープン前輪駆動』に細分化されている

ストリート EVO クラス

ワイド化や軽量化、エンジン/ミッション換装などの大幅なチューニングを施しているながらも、構造変更や記載変更により車検をクリアしている車両が該当。ラジアル装着の『ストリートEVO R』、セミスリック装着の『ストリートEVO S』に分かれ、さらに『4WD』『後輪駆動』『前輪駆動』『軽自動車』の4部門に分かれる

ストリート+クラス

大幅なワイド化や軽量化や排気量アップ、エンジン/ミッション換装などはなされないが、一部パーツの素材がストリートクラスの範疇を超える車両による昨年からの新設クラス。ハードトップを備えるオープンカーは、その際に幌を撤去すると、このクラスになる。ラジアル装着の『ストリート+ R』、セミスリック装着の『ストリート+ S』に分かれ、さらに『4WD』『後輪駆動』『前輪駆動』『軽自動車』の4部門に分かれる

ストリートクラス

大幅なワイド化や軽量化や排気量アップ、エンジン/ミッション換装などがなされない車両によるクラス。ラジアル装着の『ストリート R』、セミスリック装着の『ストリート S』に大別され、『4WD』『後輪駆動』『前輪駆動』『軽自動車』の4部門に分かれる。『後輪駆動』『前輪駆動』は排気量によっても、さらに細分化される

ストリート LIGHT クラス

構造変更や記載変更をとまわず、保管基準をクリアしている車両が当てはまる。外装は純正オプション以外のエアロパーツが禁じられていて、最低地上高90mm以上の確保は、タイムアタック時も満たしていなければならない。タイヤはラジアルのみだが、RE-05DやRE-12D、A052、β02などの超ハイグリップラジアルを履くことができる。『4WD』『後輪駆動』『前輪駆動』『軽自動車』の4部門に分かれ、『後輪駆動』『前輪駆動』は排気量によっても、さらに細分化される

ストリートSUPER LIGHTクラス

ストリート LIGHT の規定に加え、市販ブレーキキャリパーや超ハイグリップラジアルが許されないクラス。メカニカルグリップの稼ぎ方など、チューナーの真の実力が試される世界。『4WD』『後輪駆動』『前輪駆動』『軽自動車』の4部門に分かれ、『後輪駆動』『前輪駆動』は排気量によっても、さらに細分化される